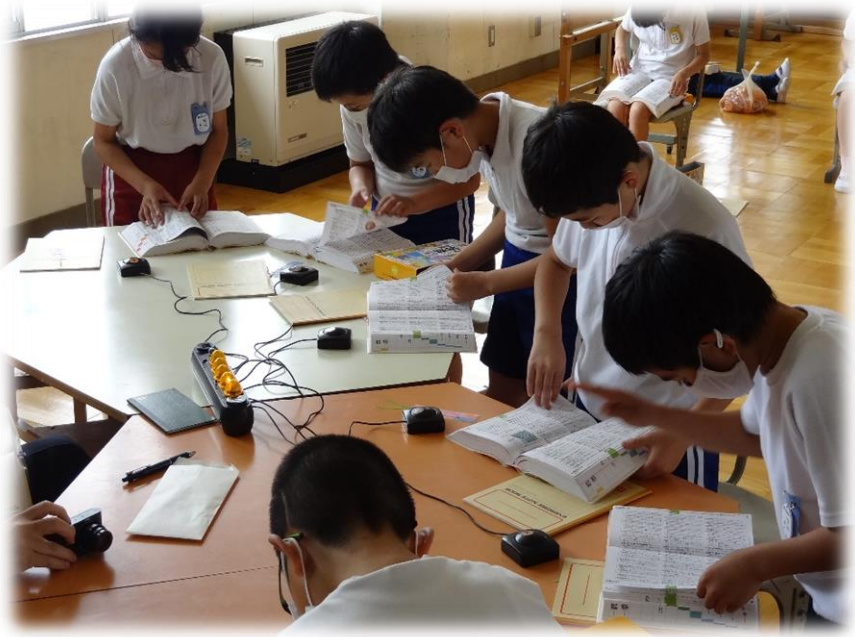
令和３年度　学校だより　学校教育目標「せいいっぱい　きたえ　のびよう　東っ子」

東白川小だより

令和３年６月 30 日(水)　№4

国語辞典を片手に



今年度１回目の「国語辞典はや引き大会」の様子(R3.6.22)

「昼休みに校長室へ練習に行ってもいいですか」

ある子がお願いにきました。さて、この子は何の練習をしようとしているのでしょうか。左の写真がヒントです。

そうです。この子は「国語辞典はや引き大会」に向けた練習をしたかったのです。

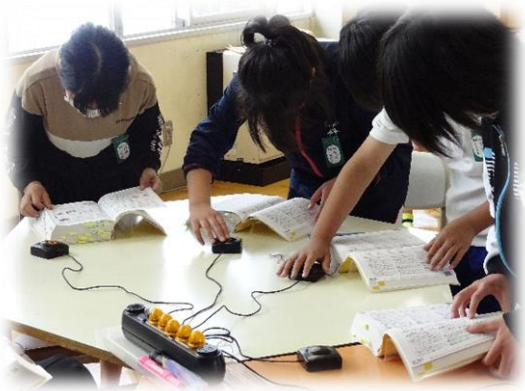
昨年度から始めたこの大会。「今年はいつやるんですか」「今年もやるんですか」４月から聞かれていました。

「もちろんやるよ。練習しておいてね。」

４月から国語辞典を使い始めた３年生は「待ってました！」と大喜び。練習ができると聞きつけた子たちが校長室にやってきて、国語辞典をはやく引く練習をしました。（おもちゃづくりは一時中断です。）

今年は高学年の子が大会の運営を手伝ってくれたり、他学年の大会を見ようと集まる子が増えたりと盛り上がりを見せ、うれしい限りです。

国語辞典をはやく引くことを競う大会ですが、本来の目的は、この大会を通して、国語辞典に親しんでもらいたい、言葉に親しんでもらいたいというところにあります。昨年度から子どもたちは、分からない言葉があれば国語辞典を引く、ということを授業の中で大切にしています。付せんをいっぱいつけた国語辞典が並んでいます。



コンパクトで情報がいっぱいつまった電子辞書は便利です。でも、電子辞書にはない国語辞典の面白さは、ある言葉を調べたときにその近くの言葉との出会いがあるというところだと思います。意味がよく分からない言葉があれば辞典を引いてみる。そんな習慣が身に付くといいですね。ご家族で「国語辞典はや引き大会」なんていかがですか。